



# ESS 国際交流部 今度は FSC アワード最終審査でプレゼン

四月二四日(日)、日本森林管理協議会(FSCジャパン)主催の「第三回 FSC アワード」最終審査会で最終プレゼンテーションがありました。ESS 国際交流部は、全国九七組の応募があった一次審査を通過し、最終審査に進みました。最終審査に残ったのは十組のみでしたが、見事その一つに選ばれました。

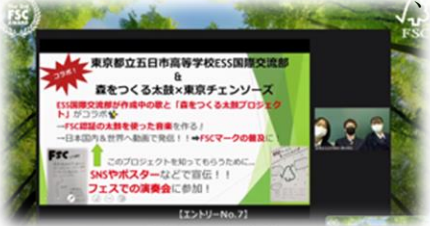
「もしも自分が FSC ジュニアアンバサダーになったら、FSC マークの普及のために何が出来るか？」がこのプレゼンのテーマ。このプレゼンをきっかけに生徒の身の回りにある FSC マークを探してみるところから始めました。

「私たち五日市高校生でしかできないこと」という視点で考え、地域の資源に注目しました。本校の探究活動でつながりのある東京チェーンソーズが管理している MOKKI NO MORI は、FSC 認証を取得しており、

その森の間伐材で作製された和太鼓に着目。当部が現在取り組んでいる「もったいない音楽プロジェクト」の中でこの「和太鼓」を使ってミュージシャンと共に音楽を作り、SNS、五市マールシェ、ライブフォレスト等で演奏の機会を設けることにより FSC 認証の認知度をアップにつなげるという提案をしました。

本番までに何度も練習を繰り返し、前回のプレゼンの時と比べて、自信を持って堂々とした発表ができました。

惜しくも入賞できませんでしたが、このアイデアを表現させるように努力していつてもらいたいです。



皇月に入り、新緑が美しい季節となりました。活動するには適した時期です。五月二日、不安定な天気が続きました。なんとか大きな崩れもなく、二年生は探究活動の一環で校外学習を行いました。一年生は、地域探究フィールドワークということで今年

はクラスごとに学校周辺において林業、漁業、自然、保育園・寺院の4か所に分かれて専門家の御指導の下体験活動を行いました。二年生は地域をより深く知るために他の地域の特色を知るというテーマで、鎌倉に行きました。

林業体験は小中野自治会所有の森林において、森の包括支援センター(日の出町)の支援により山の斜面や沢などに落ちた木々を整理して歩きやすく

したり、道を作ったりする作業を行いました。前日雨が降り多少地面が緩いところもありましたが、専門家の指導の下、無事に作業を行うことができました。



漁業体験は養沢の秋川国際マス釣場において、ゲストとホストに分かれそれぞれの役割を体験しました。ゲスト側は施設を見学した後、ニジマス釣りの体験、ホストとしては経営する側からの視点でニジマスの放流等の作業を行いました。

保育園・寺院での体験は大久野保育園園長兼天正寺副住職である高野氏による地域における保育園や寺の役割や地域貢献などについての法話を頂き、その後体験として、坐禅と作務を行いました。振り返りアンケートでは、坐禅が衝撃的だったと多くの生徒が触れていました。

自然体験では秋川の作り出した河岸段丘、岩石、河原で拾った様々な種類の石や、子生神社等周辺の歴史的な建造物について学びました。どれも普段は経験することができないことを経験することができました。

これらの体験を通して何を感じたのか、こうするともっと良くなる、こんなことをやってみたらどうかなど、自分なりに考えをまとめるなど、振り返り次に繋がっていきます。この地域には様々な専門家の方々が多くいらつしやいます。実施に当たり御協力くださった地域の方々に感謝いたします。次回も引き続きよろしくお願いたします。

## 地域を知る探究活動〈実践編〉



ファイールドワークとして校外での地域を知る探究活動は、昨年度コロナ禍で実施することができなかったこともあり、今年度は感染症対策を行いながらではありますが、無事に実施できてほっとしています。今後の活動に期待です。



### <東京都立五日市高等学校が目指す生徒像>

広い視野を持ちながら新しい社会に対応するとともに、地域貢献できる生徒、地域を愛し地域から愛される生徒

発行者 東京都立五日市高等学校 校長 久保田 聡

住所 〒190-0164 あきる野市五日市 894 電話 042-596-0176 ファクシミリ 042-596-1250

URL : <http://www.itsukaichi-h.metro.tokyo.jp/zen/index.html>

御意見や御感想はこちらへ→

